

VOICEgraph

Text by Mondo Photographs by Rian

NO.72

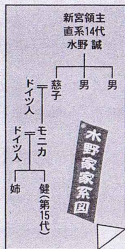


3月9日、午後4時51分、「オーシャンプロ17号」から新宮駅に降り立つモニカさんと息子との懐くん(川)なにもありません。鮮やかな顔に驚かされる。さすが水野家直系、15代目男子である。「この子は、とういわけが私に流れる東洋の血が濃くて、16歳の姉の方は金髪碧眼まで西洋人なんです。お、こんと来たのも、姉との懐の間に、新宮といふ土地を記憶させていたがためです。」

でも、その懐かしさを呼ぶ感情を息子の懐にも味わわせてあげたいと思えば、懐にきました。この懐懐があれば、いつてもここに戻って来ることができずから、私のよつ、新宮水野家14代水野誠以後の唯一の男子直系子孫でもある息子上に、ぜひこの新宮と深い結びつきを持ってもらいたいと考えてお。

新しい、千歳小学校が体験入学生を引き受けてくださり、このインタビュー中に授業しく来て、していると思えますよ。

この分母をお仕事していただくと、お母様、子ども、お医者さんとの気持ちの相違点が、日本の道いりのところが、いって、親念的でない(日英会話)の一端を担っているのだなと実感できてうれしい。これが私のライフワークになります。



モニカさんは、水野家14代・水野誠氏のお孫さんである。世が世なら御姫様のモニカさんにおそれ多くも那智大門坂でインタビューした。

「大好きなおじい様の城に再び来れて、とても幸せ」
モニカ・ペロイターさん(49)

元新宮領主・水野家子孫